

(様式第7号)

令和7年度 年度評価表

1 指定管理施設の概要

施設名	舞鶴市勤労者福祉センター		
指定管理者	一般財団法人舞鶴勤労者福祉協議会		
設置目的	勤労者の福祉の増進を図るため。		
選定方法	公募	指定期間	令和6年4月1日～令和11年3月31日
所管課	産業振興部 商工・観光振興課		

2 利用状況等の推移

	令和6年度	令和7年度	令和8年度	令和9年度	令和10年度
利用者数(人)	30,185人	27,682人	人	人	人
利用料金(円)	2,383,250円	1,803,550円	円	円	円
指定管理料(円)	14,650,000円	14,875,000円	円	円	円

3 成果(数値)目標の達成状況

成果(数値)目標の種類	市設定目標	年間目標(A)	実績(B)	達成率(B/A)
舞鶴市勤労者福祉センターの利用人数	20,000人以上	20,000人以上	27,682人	138.4%
施設の平均稼働率	25%以上	25%	30.6%	122.4%
自主事業の実施件数	4件以上	4件	10件	250.0%

4 収支状況

(円)

収入		支出	
利用料金	1,803,550	人件費	12,345,139
指定管理料	14,875,000	維持管理費	2,975,998
事業収入	0	事業費	948,852
その他	13,540	その他	358,907
合計	16,692,090	合計	16,628,896
差額			63,194

5 所管課による評価

項目	評価	コメント
(1) 事業計画の達成度		
成果(数値)目標を達成しているか	◎	利用人数、施設稼働率とも、年間目標値を達成できた。自主事業については、設定した目標値を上回る回数を実施することができた。
施設の将来的な構想(ビジョン)に沿った運営を行ったか	○	「勤労者及び地域住民の福祉向上のため、文化教養、福利厚生等に関する事業を行う」という構想に沿った運営が行われ、利用者も拡大できている。
施設の果たすべき使命(ミッション)を果たしたか	○	勤労者や労働組合のほか、地域住民にとって、学びや交流、リフレッシュの場となることで、地域社会の活性化に貢献している。
市指定事業、自主事業は計画どおり行われたか	○	事業計画書を上回る内容で実行された。
利用者数の増加、利用率の上昇などが図られたか	◎	利用者数、利用率は、目標とした数値を大幅に上回り、達成している。
(2) 利用者の満足度		
利用者の満足が得られたか	○	利用者アンケートでは、5段階評価で4以上が約76%となっており、一定の満足度を維持する結果となっている。
利用者の意見・要望の把握は適切に行われたか	○	利用者とのコミュニケーションを密にとり、意見・要望を適切に把握されている。一方でアンケートの回答数が利用者に対して少ないため期間を延長するなど工夫が必要。
利用者の要望・苦情への対応は十分に行われたか	○	利用者の要望をしっかりと把握し、市と協議の上、対応されている。
(3) 管理運営の効率性		
経費の節減が図られたか	○	こまめな修繕により、大規模な修繕等を要するまでに至らないよう経費の削減を図っている。

委託費、物品の購入費等の経費が最小となるような取組が行われたか	○	修繕・備品購入についても見積内容を精査し適切に発注されている。
収入増加のための取組が行われたか	○	利用料金の改定、時間貸しや稼働率の低いホールの分割利用を可能とするなど、効率的な利用で稼働率を上げることにより、収入増加を図っている。
(4) 適正な管理運営		
適切な人員配置が行われたか	○	適切に行われている。
職員の能力向上のための取組が行われたか	○	緊急時の対応マニュアルや訓練の実施、個人情報の取扱に関するミーティング等を職員間で行うことで能力の向上を図られている。
施設の平等な利用が行われたか	○	適切に行われている。
個人情報の管理が適切に行われたか	○	個人情報保護規定・プライバシーポリシーなどを作成し、その規約に基づき運営されている。
情報の公開が適切に行われたか	○	適切に行われている。
収支状況や会計処理が適切か	○	実地調査の結果、適切な処理が確認されている。人件費や物価が高騰する中、徹底したコスト管理と工夫により黒字化を達成した。厳しい経営環境下で持続可能な運営基盤を構築されている。
施設・設備の法定点検及び保守が適切に行われたか	○	実地調査の結果、適切な処理が確認されている。
備品等の管理が適切に行われたか	○	実地調査の結果、適切な処理が確認されている。
危機管理、安全対策などは十分か	○	事故・緊急時の対応マニュアルを受付に設置するなど対策は取られている。
法令等を遵守し、適正な管理が行われたか	○	適正に行われている。
(5) その他コメント		
サービス向上	指定管理者として、勤労者及び地域住民の福祉向上、地域の活性化という重要な役割を担っていただいている。若年層に訴求効果の高いInstagramやnoteを活用し、潜在顧客への認知度向上を図っており、引き続きその取り組みを継続していただくことで、利用者層の拡大に繋がるものと期待している。また、勤労者の働き方やライフスタイルの変化、地域住民の多様なニーズを的確に捉え、魅力的な文化教養、健康増進、交流促進事業などを企画・実施することで、利用者の拡大に繋がるよう、今後も創意工夫による運営をお願いしたい。	
経費削減	引き続き経費削減に向けた取り組みを進めていただきたい。	
施設の維持・管理	きめ細やかな清掃、不具合箇所の適切な修繕など、利用者が快適に利用できるための施設の維持・管理を行っていただいている。引き続き、良好な施設の維持・管理を実施していただきたい。	

※(1)から(4)までにおける評価区分

◎(優)： 協定書、仕様書等の基準を遵守し、その水準より優れた内容である。

○(良)： 協定書、仕様書等の基準を遵守し、その水準に沿った内容である。

△(可)： 協定書、仕様書等の基準を概ね遵守しているが、内容の一部に課題がある。

×(不可)： 協定書、仕様書等の基準を遵守しておらず、改善の必要な内容である。

6 選定委員会による評価

評価点	3.62点	※左記の点数は、各委員が次の5段階評価を行い、その点数を平均したものです。 5：良い、4：やや良い、3：普通、2：やや悪い、1：悪い
総評	・若年層の利用拡大に向け、施設名の変更や愛称をつけてはどうか。 ・SNS等を活用し、幅広く周知できているので、大変評価できる。 ・適切な運営管理が行われている。 ・数値目標を達成できていることは素晴らしい。 ・柔軟な貸室運用、駐車場利用ポイント等の工夫は高評価。 ・立地条件を活かした新しい形を望む。 ・まなびあむとの棲み分けが課題。 ・夜間の利用率が低いとのことなので、運営時間の見直しなども検討いただきたい。	

《参考》 過年度の評価点

令和6年度	令和7年度	年度	年度	平均
3.83点				